

高病原性鳥インフルエンザ 愛知県(2例目)、和歌山県及び 三重県で疑似患畜 確認

【全国16例目】

愛知県新城(しんしろ)市 日吉 肉用・採卵用種鶏 約17,500羽 2月14日、農場から家畜保健衛生所に通報(死亡羽数増加:前日の2倍以上確認) A型インフルエンザの簡易検査で陽性 2月14日夜、遺伝子検査の結果、H5亜型 陽性と判明し、死亡鶏の状況等も合わせて考慮し、疑似患畜と判定 家さんの殺処分、焼埋却、移動制限区域の設定等、必要な防疫措置の的確な実施 2月15日朝、殺処分終了

【全国17例目】

和歌山県紀の川(きのかわ)市 貴志川(きしかわ)町 採卵 約100,000羽(この他、同じ管理者が日常管理している農場約20,000羽も疑似患畜 2月15日、農場から家畜保健衛生所に通報(特定の鶏舎で固まって死亡鶏を確認) A型インフルエンザ簡易検査陽性 2月15日夜、遺伝子検査の結果、H5亜型 陽性と判明、死亡鶏の状況等も考慮し、疑似患畜と判定 家さんの殺処分、焼埋却、移動制限区域の設定等、必要な防疫措置の的確な実施

【全国18例目】

三重県南牟婁(みなみむろ)郡 紀宝(きほう)町 肉用 約67,000羽 2月15日、農場から家畜保健衛生所に通報(死亡鶏の増加) A型インフルエンザ簡易検査陽性 2月16日未明、遺伝子検査の結果、H5亜型陽性 判明、死亡鶏の状況等も考慮し、疑似患畜と判明 家さんの殺処分、焼埋却、移動制限区域の設定等、必要な防疫措置の的確な実施

高病原性鳥インフルエンザの侵入・拡散の防止のポイント

飼養衛生管理の遵守と異常発見時の早期通報の徹底

1 農場の衛生管理の徹底 (基本的な飼養衛生管理)

防鳥ネット等、野生鳥獣の侵入防止対策の徹底

農場内専用の衣服、履き物を設置し、出入り時は必要な消毒を実施

鶏の飲用水は、消毒されたものを給与



2 早期通報の徹底

鶏冠・肉垂等のチアノーゼ、沈うつ等本病が疑われる症状を確認した場合

1 鶏舎において、死亡羽数が直近3週間の平均死亡羽数と比べて2倍以上に増えた場合

1 鶏舎において5羽以上がまとまって死亡しているような場合

その他にも、突然死、産卵率の低下、頸の捻転等神経症場等の異常が確認された場合



連絡先 飛騨家畜保健衛生所
TEL(0577)33-1111 FAX32-9019
E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp



日本における高病原性鳥インフルエンザの発生状況

《H22年10月～》

■ : 家きん飼養農家
□ : 野鳥等



鹿児島県出水市: 鶏(採卵鶏)8,600羽
1月25日 H5亜型N1亜型(強毒)
1月26日 防疫措置完了

大分県大分市: 鶏(採卵鶏)約8,100羽飼養
2月2日 H5N1亜型 2月3日 防疫措置完了

| 宮崎県 | | |
|-----------------------------------|------------------|--------------|
| 宮崎市: 鶏(種鶏) 10,000羽、 | 1月22日 H5N1亜型(強毒) | 1月24日 防疫措置完了 |
| 新富町: 鶏(採卵) 66,000羽(団地全体41万羽)、 | 1月23日 H5N1亜型(強毒) | 2月2日 防疫措置完了 |
| 都農町: 鶏(肉用) 10,000羽、 | 1月27日 H5N1亜型(強毒) | 1月29日 防疫措置完了 |
| 川南町: 鶏(肉用) 92,000羽、 | 1月28日 H5N1亜型(強毒) | 1月31日 防疫措置完了 |
| 延岡市: 鶏(肉用種鶏)6,600羽、 | 1月28日 H5N1亜型(強毒) | 1月30日 防疫措置完了 |
| 高鍋町: 鶏(肉用) 40,000羽、 | 1月30日 H5N1亜型(強毒) | 2月1日 防疫措置完了 |
| 宮崎市: 鶏(肉用) 190,000羽、 | 2月1日 H5N1亜型(強毒) | 2月4日 防疫措置完了 |
| 高千穂町: 鶏(肉用)40,000羽(関連農場 16,000羽)、 | 2月5日 H5N1亜型(強毒) | 2月6日 防疫措置完了 |
| 都農町: 鶏(肉用)96,000羽、 | 2月5日 H5N1亜型(強毒) | 2月7日 防疫措置完了 |
| 門川町: 鶏(肉用)30,000羽、 | 2月6日 H5N1亜型(強毒) | 2月7日 防疫措置完了 |
| 宮崎市: 鶏(肉用)33,000羽、 | 2月7日 H5N1亜型(強毒) | 2月8日 防疫措置完了 |